

にほん き か 日本に来て感じたこと

刘 珈言

(リュウ カゲン)

しゅっしんち

出身地：中国

わたし にほん き ねんめ きょう うれ かな
私は日本に来て2年目になります。今日まで、嬉しいことがあるだけでなく、悲しいことなどいろいろなことありました。日本での日常生活を通して、日本人の温かさと日本の生活習慣が、少しずつ私の考えを変えました。

にほん す い ほん にほん れいぎただ おも
日本のどこが好きなのかと言うと、1番は、日本人はみんな礼儀正しいことだと思います。ひとつの例をあげると、日本に到着して飛行機から降りるとき、日本のCA（キャビンアテンダント）の人たちは、やさしい笑顔をかべ、ていねいにお辞儀をしてくれました。それを見ただけで、私の気持ちはるんるんとなりました。世の中で、90度のお辞儀で敬意を表す国の人たちは、本当に少ないと思うので、日本人はとても礼儀正しいと思いました。日本の生活が始まった五日後から学校が始まるので、その始まる日までが、とても心配でなりません。頭の中でたくさんの不安が浮かびました。例えば、「友だちができなくて、寂しくなるかな。」など、とても心配でした。そして、初めて学校に着いた時、先生たちと生徒たちから「おはよう」と声をかけられたので、すごい幸せな気持ちになりました。その理由は、私の母国である中国では、そんなに気軽には人に声をかけないのです。

きょうしつ せんせい わたし しょうかい わたし ちゅうごくじん
そのあと教室にいくと、先生は私のことを紹介してくれました。みんなが私が中国人であることを知っても、悪意を持つことはありませんでした。それどころみんな積極的にわたし はな ほ わたし ほんとう うれ いちぶ
私に話しかけてきて、褒めてくれて、私は本当に嬉しかったです。それだけでなく、一部のせんせい わたし すこ ちゅうごくご べんきょう ほんとう にほんじん やさ おも
の先生は、私のために少し中国語を勉強さえてくれました。本当に日本人は優しいと思いました。

いっぽう てん かん たと にほん べんり
一方、マイナスの点も感じました。例えば、日本のデリバリーサービスは、あまり便利ではないと感じました。そのわけは多くの店ではこのサービスがないからです。中国では、食べたいものは何でもすぐに家に届けてくれました。なので、日本は非常に不便だなと感じました。

わたし にほんじんどうし あいだ み かべ かん たと じぶん
私はまた、日本人同士の間に見えない壁があることも感じてきました。例えば、自分のなや ひと い かべ ひとどうし
悩みもなかなか人には言えないこともあるようです。でも、この壁があることにより、人同士

あいだ たが そんちよう きも う かべ そんざい けいご
の間にはお互いを尊重する気持ちが生まれました。なぜなら、この壁の存在によって、敬語
ひんぼん つか おも じぶん れいぎただ あらわ
などが頻繁に使われるようになるのだと思います。自分の礼儀正しさを表すことができる
のです。

にほん けいけん つう わたし おお まな わたし
日本でこのような経験を通じて、私は多くのことを学びました。これらはすべて、私の
じんせい
人生にとってのタカラモノになりました。